

# 週刊 タバコの正体

タバコが原因で発症する病気はたくさんあります。がん、心筋梗塞、脳梗塞、COPD(慢性閉塞性肺疾患)などがその代表ですが、どんな病気でも病気だとわかれば、病院で治療を受けることになります。すると、当然のことながら治療費が必要ですよ。大した病気であれば数回の治療ですむので治療費も少ないでしょうが、入院や手術が必要になってくるとそれなりに高額となってきます。

例えば、がんの治療には下表にあるような費用がかかります。この表は厚生労働省の医療給付金実態調査の統計をもとに推計した、2012年の治療1件あたりに支払われた平均の費用だそうです。

がんの種類	入院の費用		入院外の費用	
	医療費総額	3割自己負担額	医療費総額	3割自己負担額
胃がん	60万3,550円	18万1,065円	2万6,431円	7,929円
結腸がん	59万2,917円	17万7,875円	4万2,279円	1万2,684円
直腸がん	71万931円	21万3,279円	5万7,103円	1万7,131円
肝がん	56万7,644円	17万293円	3万9,427円	1万1,828円
肺がん	63万6,724円	19万1,017円	5万2,488円	1万5,746円
乳がん	53万5,330円	16万599円	4万8,784円	1万4,635円
子宮がん	59万816円	17万7,245円	2万3,385円	7,016円
悪性リンパ腫	91万1,078円	27万3,323円	5万3,677円	1万6,103円
白血病	144万4,010円	43万3,203円	7万6,959円	2万3,088円
その他のがん	59万3,686円	17万8,106円	4万2,766円	1万2,830円
胃がん	52万1,113円	15万6,334円	1万7,541円	5,262円

『がん保険の教科書』サイトから

タバコを吸い続けると、こんな病気になる確率が高くなります。しかも、喫煙を続けるためにはタバコを買い続けなければなりません。例えば、毎日430円のタバコを20年間買い続けると300万円を超えてしまいます。300万円以上も出費して、自分の身体にダメージを与え続けたあげくに病気になり、その治療費をも負担しなければならなくなるのです。

まったく馬鹿げていると思いませんか。わざわざお金を払って病気になっているようなもので、その治療費も自分で払うわけですから、冷静に考えればタバコを吸い始める人はいないはず。すでに一生タバコを吸わないつもりの方には当然のことだとわかってもらえるでしょう。でも、もし、この事に気がついていない人がいれば、ちょっと耳打ちしてあげてください。

産業デザイン科 奥田 恭久